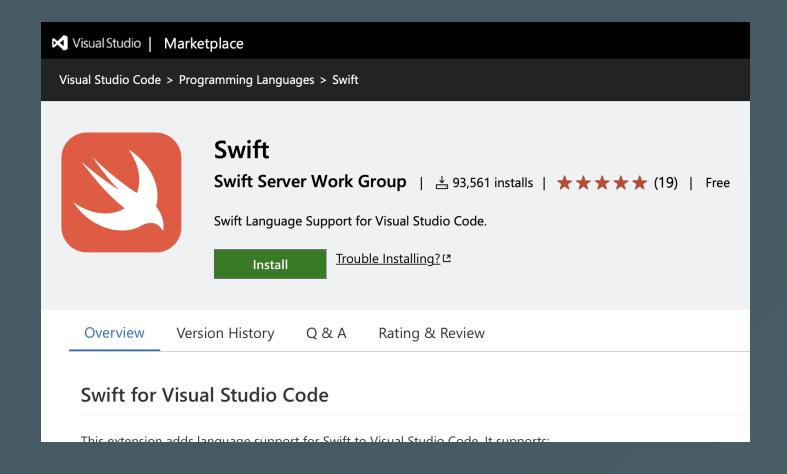
Coding Swift with Visual Studio Code and Docker

宇佐見公輔 / 株式会社ゆめみ 2023-03-03

Swiftの開発環境

- CLI
- Xcode
- Swift Playgrounds

Swift with Visual Studio Code



開発対象

- Swift Package開発が対象
 - 実行バイナリ、ライブラリ
 - 。サーバーサイド
- ・アプリ開発は対象外

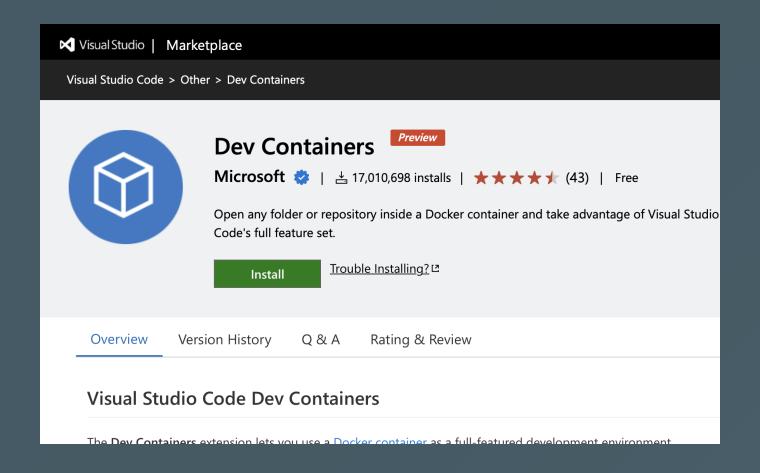
機能

- Swift言語サポート
 - ○コード補完、コードジャンプ
- Swift Packageサポート
 - ビルドタスク、依存パッケージ管理
- ・デバッガー
- 単体テスト

Visual Studio Codeとしての利点

- 軽量
- Extensionの利用
- ワークスペース機能
- Dockerとの連携

Dockerとの連携



Docker Containerの利用

- SwiftコードをLinux上で実行できる
 - 。特にサーバーサイドSwiftの開発で有益
- ローカルにSwift開発環境がなくても開発できる
 - 。 macOS以外でも開発環境が整えられる

準備

- Docker Desktopをインストール
 - 。 ライセンスに注意
- Visual Studio CodeにDev Containers拡張をインストール

Dev Container設定

- 設定用のコマンドがある
 - 。「Dev Containers: Add Development Container Configuration Files」を実行
 - 。Swiftがすでに用意されているので選択すればOK
 - devcontainer.json を自動生成してくれる

補足:

最新のSwift 5.7ではビルドに失敗してしまった。 Swift 5.6なら大丈夫だった。

Container上で実行

- Container上でプロジェクトを開く
 - 。「Dev Containers: Reopen in Container」を実行
- Visual Studio Code上でビルド・デバッグ
 - 。 自動的にContainer上で実行してくれる

参考

swift-server/vscode-swift: Visual Studio Code Extension for Swift https://github.com/swift-server/vscode-swift

Swift.orgのブログ記事 https://www.swift.org/blog/vscode-extension/